

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年5月31日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4694300072
法人名	社会福祉法人 大川福祉会
事業所名	グループホームぼだい樹
所在地	鹿児島県南九州市穎娃町別府2796番地1 (電話) 0993-27-4566
自己評価作成日	平成30年4月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年5月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

リビングから開聞岳や大隅半島、天気の良い日は硫黄島や竹島、種子島などの離島も望むことができます。余暇時間などは歩行運動、コードレスバイク、マイクロ電気、マッサージ機など要望に応じて利用されています。洗濯物たたみや食堂、ホールの掃除なども個人の能力に応じて職員と一緒に取り組んだり福祉会主催のゲートボール大会や避難訓練、納涼大会などは地域の方にも参加いただくなど地域との繋がりも大切にしています。また、法人の特徴である法話会や彼岸法要などへも参加しており入居者様からも喜んでいただいています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、福祉関連施設の一角に立地し、母体法人は特別養護老人ホームや養護老人ホーム・保育園等を幅広く運営している。法人全体の行事等で、地域住民との交流が行われている。
- ・同敷地内の養護老人ホームとは、避難訓練を合同で実施したり緊急時の協力等の互間連携が整っている。
- ・当法人主催のゲートボール大会や運動会・納涼大会には地域住民を招待して多数の参加者と共に楽しんでいる。
- ・母体法人で外部から講師を招き人権擁護の研修会を毎年開催している。事業所でも勉強会を行い個々の人格の尊重に努め尊厳を大切にしている。
- ・共有空間は工夫された設計で、車椅子対応の洗面台や機能訓練スペースがある。システムバスその他リフト浴室があり身体機能に配慮がある。
- ・施設長や管理者は職員の研修会や資格取得に協力的である。職員間のコミュニケーションも良く働きやすい環境である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ぼだい樹独自の理念を掲げ、掲示している。職員会議などを通して施設長から職員へ周知している。	理念は玄関に掲示している。理念の見直しを全員で行い、毎月の職員会議で施設長も参加して理念の共有化を図り実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	ゲートボール大会や納涼大会、花火大会など地域への参加を呼びかけ交流を行っている。	散歩の時の挨拶や母体法人主催のゲートボール大会・運動会・納涼大会・花火大会等への参加で地域の方と交流がある。法話や法事への参加や保育園児との交流・地域より野菜の差し入れ等もあり、日常的に地域住民と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症の方の受け入れや相談など随時対応している。見学時にはパンフレットを配布している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>日常の活動内容や外出支援、リスクマネジメントなど報告を行い会議にて検討、その内容を記録し職員へも周知している。</p>	<p>定期的に会議を開催している。事業所や入居者の状況報告を行い、参加者から質問や情報提供を受けている。出された要望はサービスに活かしている。不参加の家族には議事録を郵送し報告している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議で行事や活動内容を報告し、行政担当の方とも意見交換を行っている。行政からの通達や要望などにも早急に対応している。</p>	<p>日頃は電話で相談したりアドバイスを受けている。行政担当者、に運営推進会議に参加してもらい事業所の活動内容を報告し意見交換を行っている。日頃から連携を密に図っており、行政からの通達には早急に対応している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束のマニュアルを基に勉強会を開催し職員へも周知している。</p>	<p>毎月、身体拘束廃止の勉強会をマニュアルを基に実施している。年1回は法人全体での研修や人権擁護の研修会を開催している。言葉の拘束にも十分配慮して対応している。昼間は玄関の施錠はしていない。外出希望者には寄り添って支援し、拘束のない支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待のマニュアルを基に勉強会を開催し職員へも周知している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>法人全体の取り組みとして毎年人権擁護研修を行っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時または内容改定時文書にて案内し入居者やご家族へ疑問等を訪ね、十分な説明を行ったうえで同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時やプラン見直し時に本人及び家族の要望や意見を伺っている。また、苦情・相談窓口を設置し公表している。</p>	<p>利用者からは日常の関わりの中で思いを聞いている。家族からは面会・行事の時・苦情相談窓口などで意見や要望を聞いている。意見や要望は職員と話し合い、運営に反映させるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議に代表者、施設長にも参加いただき職員の意見や提案、要望を伺う機会を設けている。</p>	<p>申し送り時や職員会議の時に代表者や施設長も参加して意見や提案を聞いている。処遇や物品購入の要望が多い。出された意見は早急に対応している。施設長・管理者は、個別面接も実施し、職員の思いを聞いている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者、施設長が定期的に個人との面談機会を設け資格取得に応じた手当を給料へ反映するなど能力に応じた対応を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>食事介助や排泄介助などの担当を決め勉強会を開催するなど職員の技術向上に取り組んでいる。外部研修にも希望者が参加できるよう勤務を調整している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>隣接施設や同法人間での交流、地域で開かれる研修・交流会にも参加し、情報交換を行うなどサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新規入居に伴い事前に本人と面会し要望や不安などを伺い、安心して生活できるようケアプランに反映している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	新規入居に伴い事前に家族と面会し要望や不安などを伺い、安心して生活できるようケアプランに反映している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	新規入居に伴い事前に本人・家族と面会し要望や不安などを伺い、安心して生活できるようケアプランに反映している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の準備や後片付け、ホールや居室の掃除など個人の能力を活用しながら共に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	日用品などの購入希望など家族へ相談し購入をお願いしている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	地域の行事を把握し希望があればドライブに出かけるなど住み慣れた地域との関係づくりに努めている。	友人や親戚の訪問が多い。母体法人主催の敬老会・盆踊り・花火大会等で知人と会う機会もある。市の行事に出かけ作品鑑賞や職員と法要に行ったりして馴染みの関係が途切れないように交流を図っている。	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	お茶やレク、カラオケ、散歩など一緒に関わる時間を設けている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	退居後も新たな施設での生活の様子について電話や訪問などで本人及び現場スタッフに伺っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的にサービス内容を見直し思いや要望を伺っている。また、困難な方に対しては今何が必要かをスタッフ間で話し合いプランへ反映している。	本人の思いを把握し申し送りノートに記録している。マッサージ機や測定機器の使用希望だったり、個別に思いや意向を把握し対応している。意思疎通が困難な場合は家族と連携をとって本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や親族、本人から得た情報を基本情報にまとめケース記録に綴っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人の生活状況を申し送りノートやケース記録に記入し変化があったことなど職員会議で報告し情報把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	危険性のある内容はリスクマネジメントとして会議で報告し職員の意見を伺いながら危険防止に努めている。また、機能や能力の変化が見られるときは都度サービス担当者会議を開催し本人や家族の意見を反映したプランを作成している。	入居の時、本人や家族の意見を聞き、職員会議で課題を把握して、主治医の意見を入れ介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に行い、状況に変化があった時は、その都度見直し現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日常の変化や気づきなど申し送りノートに記入し全職員へ周知している。また、生活状況などはケース記録に記入している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況の変化に伴い都度サービス内容を見直しケアプランを変更している。また、機能が著しく低下したときなど身体状況に適したサービス事業所の紹介を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を文書している地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域資源を把握し、住み慣れた地域との関係づくりに努めている（避難訓練やゲートボール大会、納涼祭など）</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族の希望される主治医のもと定期的に受診を行っている。</p>	<p>本人や家族の希望する医療機関がかかりつけ医になっている。眼科や泌尿器科などは家族同行となっている。定期健診は、職員が対応している。週1回は訪問看護で健康確認を行っている。夜間は、状況次第で医師が往診し、救急車を依頼することもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>体調の変化など訪問看護へ連絡しアドバイスを得ている。排便のコントロールなども訪問看護を通して主治医と連携を図っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は情報を提供し早期退院に向けて状況確認の連絡を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化したときの指針を定め身体状況に適した施設を紹介するなど家族へも説明し同意を得ている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針は入居時に本人・家族に説明して同意を貰っている。状況の変化により、家族と主治医とで話し合い家族の意向を大切にして、方向性を共有している。看取りも対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>状態急変時のマニュアルを作成し職員会議などで周知している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回消防署や地域住民にも参加いただき防災訓練を実施している。</p>	<p>養護老人ホームと合同で、年2回、消防署立ち合いの下、地域住民も参加して防災訓練を実施している。訓練の後は、消防職員の話聞き防災知識を勉強している。年1回は保育園児達も参加している。地震災害のマニュアルも作成している。備蓄は法人で準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員会議にて言葉使いについて勉強会を開催している。</p>	<p>マニュアルを作成し職員会議の時に勉強会を行っている。法人でも、講師を招き人権擁護研修会を年1回実施している。排泄・入浴・名前の呼び方等、言葉かけに配慮した対応をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>余暇時間などを利用し個別に対話時間を設けている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>起床時間なども強制的に起こさず、起きた時に食事を提供している。また、就寝時間も個人の生活リズムに添って対応している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>着たい服を自分で選べるよう衣類別にタンスに仕分け準備をお願いしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居前に嗜好を確認し苦手なものは他の食材で代用している。食後もお盆拭きなどもお願いしている。	法人栄養士の作成した献立で食事を提供している。入居時に嗜好調査を行い個々に応じた形態に気配りしている。節句や行事の日・喫茶の日等、食事を楽しんでいる。家族と外食に行く利用者もいる。個々の力量に応じて盛り付けや食後の片付けを職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による栄養バランスのとれた料理を提供。摂取量も毎日記録し、ご飯の量も希望に応じている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後うがいや歯磨きの声掛けを行い、自分でできない方は介助にて口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	全ての入居者の排泄状況を記録し記録を基に個別な声掛け・誘導・オムツ交換を行っている。	個々の排泄パターンを把握しトイレ誘導を行っている。日中は殆ど全員トイレでの排泄である。夜、自力でトイレに行ったりポータブルトイレ使用の利用者もいる。トイレでの排泄を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘がちな方は主治医や栄養士からアドバイスを受けた水分強化、ヨーグルトなどの食品、飲み薬などで調整している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2～3回入浴を計画し、9時から15時までの好きな時間に入浴していただいている。	入浴は週に2～3回、個別入浴である。同性介助で行い、入浴剤を使用している。入浴を拒む利用者には時間を変えたり、工夫して対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	余暇時間は個別に備え付けのソファなどできつろがれている。夜間トイレの出入り時の音が気になる方には職員が代わりに閉めるなど配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬情報を一冊にまとめ職員が閲覧できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>テレビ・CD・マッサージ機・マイクロ・コードレスバイクなど希望に応じて提供している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気のいい日は随時庭に出て施設周辺を散歩している。また、ドライブや買い物なども毎月計画している。お寺で開かれる法要などにも希望があれば参加している。</p>	<p>日常は、施設周辺の散歩や庭での外気浴をしている。計画をたてて月に1回は日用品を買いに出かけている。希望を把握して外出支援を行っている。季節ごとに花見ドライブ等を楽しんでいる。家族の協力を得て法要や外食にも出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族より小遣いを預かり購入希望があれば日程を調整して一緒に買い物に出掛けている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の希望があれば家族の同意を得たうえで電話をかけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>施設建設の経験豊富な設計業者、建設業者と話し合い設計しており利用者にも快適に過ごせる空間となっている。</p>	<p>玄関にはきれいな花が飾っており、ロビーは広く明るく清潔である。季節の花や行事の写真が掲示してある。工夫された設計で広く見渡せ細かな配慮がある。数台の運動機器があり、自由に利用している。台所から利用者の動きが良く見える。浴室も広く快適に過ごせるように工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>各居室にソファを設け自由に使用していただくよう配慮している。食堂の座席配置も相性を考慮している。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に家族・本人と相談しながらテレビや家具などの配置を行っている。気にいった置物なども持ち込み設置している。</p>	<p>居室は洋室や和室があり、ベッド・エアコン・ソファ・タンス・洗面台が設置してある。家族写真も置かれて全体的にすっきりとした設営になっており、居心地よい空間である。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホールや廊下、部屋の入り口など至るところに手すりを設置し安全に移動できるよう配慮している。余暇時間なども手すりを用いて立位運動なども行っている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)</p>	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	<p>職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)</p>	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない